

私立大学戦略的研究基盤形成  
支援事業「タンパク質の生成  
と管理」第5回セミナー



第12回  
生命科学  
セミナー

## 演題: 大腸菌 ArfA, ArfB による終止コドン非 依存的翻訳終結

演者: 阿保 達彦 博士

岡山大学大学院・自然科学研究科・准教授

要旨: 翻訳は mRNA 上の終止コドンで終結する。何らかの理由で終止コドンを持たない mRNA が生じると、それを翻訳するリボソームはその 3' 末端まで到達し、立ち往生する。リボソームの停滞は生物にとって有害であり、バクテリアは SsrA RNA に依存する特殊な翻訳機構, trans-translation によってリボソームを解放することが知られている。私たちは大腸菌が trans-translation 以外に少なくとも二つのリボソーム解放機構を持つことを見出した。これら二つの機構について、その発見の経緯を踏まえて紹介したい。

日時: 2012年3月5日(月)

午後4時～5時

場所: 15号館1階 15102セミナー室

世話人: 生命システム学科

伊藤維昭 (075-705-2972)

共催: 京都産業大学総合生命科学部

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「タンパク質の生成と管理」